

大田区自立支援協議会 地域移行・地域生活支援部会要旨

文責：(林委員・障がい者総合サポートセンター)

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 地域移行・地域生活支援部会 (第4回)			
(2) 開催日時	平成30年8月17日(金) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	委員 (部会長：伊藤委員)			
	白井 絵里子	青山 明子	鶴田 雅英	志村 陽子
	齋藤 信子	林 達彦	井岡 幸子	山田 悠平
	岡田 あい子	河又 保子	田中 裕子	岡本 洋
	川上 みどり			
	区職員：竜崎 香代(健康づくり課 健康づくり担当係長)			
事務局出席者 障がい者総合サポートセンター：木伏係長、森田、柳田				
(5)内容・要旨	<p>1 連絡・確認事項</p> <p>(1) 司会・書記</p> <p>(2) 出欠者の確認</p> <p>(3) 配付資料の確認</p> <p>(4) グループホーム連絡会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の課題として、グループホーム情報の当事者や家族向けの発信方法について検討していく。 ・当部会で実施する予定のグループホームと体験の場の見学の協力については、了承済み。 <p>(5) 障がい者差別解消地域協議会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる住宅管理会社の対応について精神障がいのある方から相談のあった事例の報告。区が関係部局と情報共有をし、事業所に障がい特性をふまえた丁寧な配慮を求めた結果、住み続けられるようになったというもの。部会でも、賃貸物件を探すときに収入状況確認や身元確認のために障がいを伝えることになる状況が話された。 <p>(6) 事務局からの連絡事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席委員より、看護師常駐のグループホームについて情報提供あり。 <p>2 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援部会の出席者から報告があった。高次脳機能障がいのある方の個別支援会議であった。制度の変更情報が、必要な当事者・家族へ届いていない課題が話された。 <p>3 事例検討について</p> <p>(1) 公開勉強会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を巻き込んで実践をしている「ぐるんとびーの菅原氏」をお招きできることとなった。 			

(2) 事例検討について

1) 各グループから進捗報告

[身体]

医療的ケアのある方が地域で暮らすことをテーマとした。特に、医療的ケアのある方が、喀痰吸引等に対応できる事業所を必要としているかについての調査を検討している。

[知的]

「大田区ホームカミングデイ」（施設に入所して大田区での暮らしに興味のある方に大田区の今を知ってもらう取組）の試行を検討している。

[精神]

「チーム荒川」（事業所と行政がチームを作り、病院に出向き地域移行の周知をする取組）のように、地域から病院にアプローチする方法を検討している。

2) グループワーク

- ・ 3障がい共通の視点と、隙間の課題について確認しながら、検討を進めた。
- ・ 各グループのテーマに合わせた見学先と、見学のポイントを話し合った。

※次回日程（第5回）

○作業部会： 9月28日（金）10時～12時 さぼーとぴあ3階集会室1

○部 会：10月12日（金）10時～12時 さぼーとぴあ5階多目的室